



親子がともに

子育てに正解はある、ない。子育て真っ盛りの保護者のみなさんは、考える間などないと思います。しかし、周りには、正解はこれだと感じさせる情報があふれています。みなさんが子どもの頃には、様々な育児書が本屋に並べられていました。それが徐々に消え、今はテレビ番組やSNSの情報に代わっています。しかし、メディアが代わっただけで、親を納得させるばかりでなく我が子の姿と違うので不安にさせる情報、これは変わっていない、考え方でどうか。

学校に勤めてた私は、子どもたちの様々な成長の仕方を見ることができたので、子どもそれぞれだなと思い、我が子の成長に関して育児書は読みませんでした。しかし、ピアノは何歳くらいからという情報を周りから得たり、自分の体験から自転車に乗り始める頃を考えたりしていました。見栄や競争心で何かをさせたとは思っていないですが、子どもがどのように感じているのかというやり取りを子どもと行ったのか、今になって反省しています。

なぜこんなことを書くのかというと、国連が定めた「児童の権利に関する条約」の第12条に、「1 締約国は、自己の意見を形成する能力のある児童がその児童に影響を及ぼすすべての事項について自由に自己の意見を表明する権利を確保する。この場合において、児童の意見は、その児童の年齢及び成熟度に従って相応に考慮されるものとする。」とあります。ここでいう児童は満18歳未満のすべての者という意味です。

条約にある「意見」は、opinionではなく、viewです。英語に詳しくなく勝手に考えのですが、小さな子のopinionはその場の感想のようなもので、viewは見方、見解で、幼児ではことばでなく毎日の行動で示していることもありそうです。

長女はピアノの練習を言われるままにすんなりと始めたのですが、下の子は姉がしているからするものだという感じで始めたようで、楽しそうに練習して通っていたとは言えませんでした。長女にも、どうだったのかと今さら聞けませんが。

子育てをしていると、どうしても他の子が始めたから遅れないようにとか、自分がそうだったからということを考えがちです。しかし、お子さんの生活・行動を見ながら、親子で考える・感じる場面をたくさん持つておくのが良いのではないでしょか。

保護者のみなさんが、ご自分の親に正解ばかりの子育てだったか聞いてみるのもよいかもしれません。

連絡

1月のおむすび献金について

毎年のお願いです

自園給食(2017年)になる前、週に2日お弁当を持ってきていました。当時、「私たちは、おうちから持参するお弁当を食べられ、おうちでおやつを食べることだってあります。でも、日々の食事を十分に取ることができない人たちもいます。そのような人たちのことも考えることができますように」と、おかずを我慢しておむすびだけにして、その分を献金する活動が月に1回行われていました。完全給食になっても、この精神を大切にしたいと、保護者みなさまのご理解のもと2021年1月から、この献金が復活しました。

1月になりましたら献金袋をお配りしますので、おかず代程度金額の献金をお願いします。集まりましたお金は、「世界こども助け合いの日」の献金として、カトリックさいたま教区へ送ります。昨年集められたお金は支援の必要な国の人達のために送られました。

この日は、給食はありません。食べられるだけのおむすび(おむすびの中に具材を入れること・その種類は任意です)を持たせてください。

☆ 土曜参観については、12月になってお知らせします。

☆ **保護者会** 1月8日 10:00~

保護者会・幼稚園からの連絡・提案

講演 10:30~ 約50分

演題 (仮)「幼児期に育てたいちから」

講師は、幼稚園・小・中学校(3種類の学校を知っている方)で活躍された方です。実践に裏打ちされたお話をお願いしました。

年長児の保護者のみなさんにも、小学校へ向けた確認になることと思います。

☆ 健康観察

クリスマス会に向けて、毎朝の健康観察をよろしくお願ひします。

預かり保育の無い日

12月18日

1月24日

午前保育

12月17・18日

1月 7日

1月の予定

1日~3日 休園

5月 2・3号保育・預かり保育開始

7水 始業式

8木 保護者会

9金 防災訓練④、あそびの部屋開始

12月 成人の日

20火 おむすび弁当の日・おむすび献金

24土 土曜参観

26月 振替休園(1号子ども)

30金 誕生会